編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種目 | 学 年 | |
|---------------------------------------|----------------|-----|--------|-----|--|
| 27-213 | 高等学校 | 商業 | 原価計算 | | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | | ※教 科 書 | 名 | |
| 7 実教 | 商業 350 | | 原価計算 新 | 行訂版 | |

1. 編修の基本方針

- ① 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、学習事項に関連する内容の会計処理方法を紹介する囲み記事や学習した内容の確実な理解を図ることを目的とした囲み記事等を掲載している。
- ② 自主及び自立の精神を養う観点から、章末に練習問題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮している。また、巻末には自学自習の手助けとなるよう重要事項のまとめも設けている。
- ③ 正義と責任を重んずるという観点から、原価計算基準とその役割を記述している。また、巻末には原価計算基準の抜粋も掲載している。
- ④ 職業及び生活との関連という観点から、製造現場をイメージできるよう写真 やイラスト等を数多く用いて記述している。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---------------|---|---|
| 「まえがき」以下,本書全体 | ・伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与するという観点から、簿記が歴史的技術であることにふれ、本書で学ぶ原価計算が製造業を中心とした多くの企業の経営活動を支えていることを紹介している(第5号)。 | p. 2~3 p. 7~251 |
| 第1編 | | p. 7 |
| 第2編 | ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、費目別計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージを扱っている(第4号)。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、特殊仕訳帳を利用した場合の処理や会計処理方法の別法を記述した。 | p. 47 p. 47 p. 52, 56, 64, 70 |
| 第3編 | ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、 原価の部門別計算と製品別計算に関する。 ・自然を大切にし、環境のの発生を力をを表すという観点がら、 度を養うというでは、第4号)。 ・男女の平等、自他の敬力とを指したののでででででででででででででででででででででででででででいる。 ・男女ののでででででででででででででででででいる。。 ・職業及び生活との製造現場がしているでのでででででいるで変にない。。 ・職業及び生活との製造現場である。 ・職業及び生活との関連を重視するというのとしているで第2号)。 ・職業及び生活との関連を重視をあるにでのででである。 ・職業のででのであるといるでのである。。 ・職業ので生活との関連を重視をあるにである。。 ・職業ので生活との関連を重視をあるにである。。 ・職業ので生活との関連を重視をあるにである。。 | p. 93 p. 93 p. 95 , p. 115 , p. 123 , p. 166 , p. 176 p. 112~113 |

| 第 4 編 | ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から,製品の完成と販売に関する記帳について基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし,環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等,自他の敬愛と協力を重んずるという観点から,協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から,完成した製品の例を身近なものとしている(第2号)。 | p. 187 p. 187 p. 188~189 |
|--------|---|--------------------------------|
| 第 5 編 | ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、標準原価計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を養うとし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージを表を扱っている(第4号)。 ・男女の報点からの数型と協力を重えがある。 ・異理を求める態度を養うという観点からのようなにのようにできるができるがについる(第1号)。 | p. 207 p. 207 p. 219, 221, 224 |
| 第6編 | ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、直接原価計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージを表した内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるを掲した(第3号)。 ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、を掲い知識と教養を身に付ける観点から、に原価予測の方法」、「損益分岐掲載した(第1号)。 | p. 237 |
| 記帳練習例題 | ・自主及び自立の精神を養う観点から、記帳 例題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮 している。 | p. 252~264 |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ① 豊かな人間性、創造性を養うという観点から、様々な形式の例題を扱い、対応する練習問題を掲載している。
- ② 一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得するとい観点から、工業簿記、原価の費目別計算、原価の部門別計算と製品別計算、製造業の原価管理に役立つ標準原価計算、さらに、利益計画に役立つ直接原価計算まで丁寧に記述している。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| ※受理番号 | 学校 | 教 科 | 種目 | 学 | 年 |
|----------------|----------------|-----|------|-----|---|
| 27-213 | 高等学校 | 商業 | 原価計算 | | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | | ※教 科 | 書 名 | |
| 7 実教 | 商業 350 | | 原価計算 | 新訂版 | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、「原価計算」を履修する学習者のために、製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価情報を活用する能力を育成することを目的として編修した。

本書は、上記の目的を効率よく達成できるようにするため以下の点に配慮している。

- (1) 全体を「第1編 原価計算の基礎」,「第2編 原価の費目別計算」,「第3編 原価の部門別計算と製品別計算」,「第4編 製品の完成・販売と決算」,「第5編 標準原価計算の基礎」,「第6編 直接原価計算の基礎」に分けて,各編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。
- (2) 第1編の「第3章 工業簿記」では、総論としての基本的事項を学習するという点から、製造勘定と製造間接費勘定を用いる個別原価計算の記帳手続きの例示を取り扱った。
- (3) 原価計算の手順については、整理統合をはかり、編を設けて「第2編 原価の費目別計算」「第3編 原価の部門別計算と製品別計算」とした。また、第3編では個別原価計算を基本として、易から難へと段階的に学習できる内容配列を行った。
- (4) 注は、本文と対比しやすいように、該当箇所の横に配置した。
- (5) 生徒の間違いやすい箇所については、ていねいにわかりやすく記述するとともに、必要に応じて、仕訳上の注意、計算上の注意などの囲み記事を設けた。
- (6) 図解を多く用いて、記帳手続きの流れや学習事項の相互関係などを視覚的に理解できるよう配慮している。
- (7) 本書は、例題を豊富に掲げ、練習問題を各章末に、記帳練習例題を巻末に設けた。これにより、製造業における記帳について習熟できるように構成した。
- (8) カラーユニバーサルによる全編カラー化、記帳体系や金額記入の流れなどについて視覚的に理解できるようにした。

2. 対照表

| 第4章 材料費の計算と記帳 第5章 労務費の計算と記帳 第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 第9章 総合原価計算 第11章 総合原価計算における演棋・仕 損じなどの処理 第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 第15章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第7 標準原価計算の目的と手続 イ質量が原列別分析 類別が開発の事別分析 類別が開発の事別の展別分析 類別が開発の事別が 類別が開発の事別が 類別が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が開発が | | 図書の構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|---|--------------|-------------------------------|---------|-----------------------|------------|--------|
| 第2章 原価計算のあらまし 第3章 工業簿記ー製造業における簿記ー (2) 原価の費目別計算 第4章 科料費の計算と記帳 第5章 労務費の計算と記帳 第6章 経費の計算と記帳 第6章 経費の計算と記帳 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 製品の完成と販売 第11章 製品の完成と販売 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 第14章 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その3) 第1個題 第1個題 第1個題 第2個別題 | | | | | p. 7~46 | |
| 第 3 章 工業権記ー製造業における簿記ー 第 2 編 原価の費目別計算 第 4 章 材料費の計算と記帳 第 5 章 労務費の計算と記帳 第 6 章 経費の計算と記帳 第 3 編 原価の部門別計算と製品別計算 第 7 材料費の計算と記帳 第 3 編 原価の部門別計算と製品別計算 第 7 章 個別原価計算と記帳 第 3 編 原価の部門別計算と製品別計算 第 7 章 個別原価計算 第 8 章 部門別個別原価計算 第 9 章 総合原価計算 第 10章 工程別総合原価計算 第 11章 総合原価計算 第 11章 総合原価計算 第 11章 総合原価計算 第 11章 総合原価計算 第 12章 製品の完成と販売 第 13章 決算と本社・工場間の取引 第 5 編 標準原価計算の基礎 第 14章 標準原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算の基礎 第 17章 直接原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算の基礎 第 17章 直接原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算(その 2) 第 7 直接原価計算の目的と手続 イ 原価差異の原因別分析 ウ 損益計算 | | | | | | |
| 第 2 編 原価の費目別計算 | | | , | と仕組み | | |
| 第 4 章 材料費の計算と記帳 第 5 章 労務費の計算と記帳 第 3 編 原価の部門別計算と製品別計算 第 7 章 個別原価計算 第 8 章 部門別個別原価計算 第 9 章 総合原価計算 第 10章 工程別総合原価計算 第 11章 総合原価計算における減損・仕 損じなどの処理 第 4 編 製品の完成・販売と決算 第 12章 製品の完成と販売 第 13章 決算と本社・工場間の取引 第 15章 標準原価計算(その 1) 第 15章 標準原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算(その 2) 第 7 直接原価計算の基礎 第 16 章 直接原価計算(その 2) 第 6 編 直接原価計算(その 2) 第 7 直接原価計算の基礎 第 16 章 直接原価計算(その 2) 第 17 章 直接原価計算(その 2) 第 18 章 直接原価計算(その 2) 第 19 章 直接原価計算の基礎 第 10 章 直接原価計算の基礎 第 10 章 直接原価計算の基礎 第 10 章 直接原価計算の基礎 第 10 章 直接原価計算の目的と損益 計算書の作成 | 男 3 早 | 上 美 傳 記 一 製 道 美 に わり る 傳 記 一 | | | | 5 |
| 第4章 材料費の計算と記帳 第6章 経費の計算と記帳 第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第12章 製品の完成と販売 イ 損じなどの処理 (4) 製品の完成・販売と決算 製品の完成と販売 イ 工場会計の独立 ウ 製造業の決算 p. 187~206 製品の完成と販売 イ 工場会計の独立 ウ 製造業の決算 p. 207~236 標準原価計算の目的と手続 京価差異の原因別分析 方 損益計算書の作成 第6編 直接原価計算(その1) 第16章 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第7 製品の完成・販売と決算 刊 製品の完成・販売と決算 日 型 会計の独立 方 型 型 工場会計の独立 方 型 型 工場会計の組立 方 型 型 工場会計の目的と手続 京価差異の原因別分析 方 損益計算書の作成 方 型 直接原価計算の目的と損益 方 型 直接原価計算の目的と損益 方 型 直接原価計算の目的と損益 方 型 直接原価計算の目的と損益 方 型 直接原価計算の目的と損益 方 型 直接原価計算の目的と損益 方 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 | 第2編 | 原価の費目別計算 | . , | | p. 47~92 | |
| 第 6 章 経費の計算と記帳 第 7 章 個別原価計算 第 8 章 部門別個別原価計算 第 9 章 総合原価計算 第 10章 工程別総合原価計算 第 11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理 第 4 編 製品の完成・販売と決算 第 12章 製品の完成と販売 第 13章 決算と本社・工場間の取引 第 5 編 標準原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算(その1) 第 15章 標準原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 7 標準原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 7 標準原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 7 標準原価計算の目的と手続 | 第4章 | 材料費の計算と記帳 | · . | | | 7 |
| 第 3 編 原価の部門別計算と製品別計算 第 7 章 個別原価計算 第 8 章 部門別個別原価計算 第 9 章 総合原価計算 第 11章 総合原価計算 第 11章 総合原価計算 第 11章 総合原価計算における減損・仕 損じなどの处理 第 4 編 製品の完成・販売と決算 第 12 第 13章 決算と本社・工場間の取引 第 5 編 標準原価計算の基礎 第 14章 標準原価計算(その1) 第 15章 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 7 模型原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算(その2) 第 6 編 直接原価計算(その2) 第 7 模型原価計算の基礎 第 16章 直接原価計算(その2) 第 8 編 直接原価計算の基礎 第 17章 直接原価計算(その2) 第 9 第 2 例題 第 1 例題 第 2 例題 第 2 例題 第 3 例題 | 第 5 章 | 労務費の計算と記帳 | ウ | 経費の計算と記帳 | | 6 |
| 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕 損じなどの処理 第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 7 製品の完成と販売 7 製品の完成と販売 7 製品の完成と販売 7 製造業の決算 第5 編標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第7 製品の完成・販売と決算 関準薬の決算 第1分析 損益計算書の作成 第237~249 高接原価計算の目的と損益 計算書の作成 第237~249 高接原価計算の目的と損益 計算書の作成 第1例題 第1例題 第1例題 第2例題 第2例題 第2例題 | 第6章 | 経費の計算と記帳 | | | | 4 |
| 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算 第11章 総合原価計算 第12章 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 (4) 製品の完成・販売と決算 第13章 決算と本社・工場間の取引 (4) 製品の完成・販売と決算 製品の完成と販売 イ工場会計の独立 ウ製造業の決算 (5) 標準原価計算の目的と手続 イ原価差異の原因別分析 ウ損益計算書の作成 第14章 標準原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その2) 第66編 直接原価計算(その3) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その3) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その3) 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の目的と手続 対域計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算の基礎 第66編 直接原価計算(その3) | 第3編 「 | 原価の部門別計算と製品別計算 | l ` ′ . | | p. 93~186 | |
| 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕 損じなどの処理 第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その2) 第7 直接原価計算の目的と損益 計算書の作成 名 短期利益計画 第2を2を2を2を3。 | 第7章 | 個別原価計算 | _ | • • | | 12 |
| 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕 損じなどの処理 第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第7章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 第6編 下 直接原価計算の目的と損益 計算書の作成 イ 短期利益計画 第1例題 第2例題 第3例題 | 第8章 | 部門別個別原価計算 | | の計算 | | 9 |
| 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕 損じなどの処理 第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第7 製品の完成と販売 イ 工場会計の独立 ウ 製造業の決算 (5) 標準原価計算の目的と手続 イ 原価差異の原因別分析 ウ 損益計算書の作成 第16章 直接原価計算(その2) 第6編 直接原価計算(その2) 第7 直接原価計算の目的と損益 計算書の作成 イ 短期利益計画 第1例題 第2例題 第2例題 第3例題 | 第9章 | 総合原価計算 | | | | 9 |
| ### 12章 製品の完成・販売と決算 | 第10章 | 工程別総合原価計算 | 7 | 心口 /八川山口 开 | | 5 |
| 第 4 編 製品の完成・販売と決算 | 第11章 | 総合原価計算における減損・仕 | | | | 4 |
| 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 ウ製造業の決算 2 4 第5編 標準原価計算の基礎 (5) 標準原価計算 p. 207~236 第14章 標準原価計算 (その1) | | 損じなどの処理 | | | | |
| 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引 第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その1) 第17章 直接原価計算(その2) 第17章 直接原価計算(その2) 記帳練習例題 第2例題 第3例題 | 第4編 類 | 製品の完成・販売と決算 | (4) | | p. 187~206 | |
| 第13章 決算と本社・工場間の取引 ウ 製造業の決算 4 第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) (5) 標準原価計算の目的と手続イ原価差異の原因別分析ウ損益計算書の作成 p. 207~236 第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算(その1) 第17章 直接原価計算(その2) (6) 直接原価計算の基礎ア直接原価計算の目的と損益計算書の作成名 p. 237~249 3 世級原価計算の基礎 ア直接原価計算の目的と損益計算書の作成名 カー、252~253 4年度の原因別分析の方面を表現の原因別分析の対象を表現の表現の表現の基礎の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の | 第12章 | 製品の完成と販売 | ĺ . | | | 2 |
| 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) | 第13章 | 決算と本社・工場間の取引 | | | | 4 |
| 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) | 第5編 * | 画准原価計算の基礎 | (5) | 標準原価計算 | n 207~236 | |
| 第15章 標準原価計算(その2) | | | · . | 標準原価計算の目的と手続 | p. 201 200 | 3 |
| 第 6 編 直接原価計算の基礎 第 16 章 直接原価計算(その 1) 第 17 章 直接原価計算(その 2) 記帳練習例題 第 1 例題 第 2 例題 第 3 例題 第 3 例題 | | | | | | |
| 第 16 章 直接原価計算(その1) ア 直接原価計算の目的と損益計算書の作成 イ 短期利益計画 3 計算書の作成 イ 短期利益計画 4 記帳練習例題第1例題第2例題第2例題第3例題 p. 252~253 4 p. 254~260 7 p. 261~264 5 | M1104 | 你中が画田弁(こび2) | | 浪皿 日 弁 首 ツ IF IX | | |
| 第 17 章 直接原価計算(その 2) 計算書の作成 イ 短期利益計画 4 記帳練習例題 第 1 例題 第 2 例題 第 3 例題 p. 252~253 4 p. 254~260 7 p. 261~264 5 | | | . , | | p. 237~249 | |
| ### 超級無面 4 | | | , | | | 3 |
| 第 1 例題 p. 252~253 4 第 2 例題 p. 254~260 7 第 3 例題 p. 261~264 5 | 第 11 早 | | イ | | | 4 |
| 第 2 例題 第 3 例題 | | • • • • | | | n 252~252 | 4 |
| 第 3 例題 | | | | | 1 | _ |
| 31 O 17182 | | | | | 1 | |
| | 第3例是 | 趙 | | | p. 201~204 | υ U |
| 1 =1 11/1 | | | | | 計 | 105 |

編 修 趣 意 書 (発展的な学習内容の記述)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種目 | 学 年 | |
|---------------------------------------|----------------|-----|--------|-----|--|
| 27-213 | 高等学校 | 商業 | 原価計算 | | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | | ※教 科 書 | 名 | |
| 7 実教 | 商業 350 | | 原価計算 新 | 訂版 | |

| ページ | 記 述 | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項 | ページ数 |
|-------------|---------------|----|-------------------------------|------|
| 249~ 250 | 原価予測の方法 | 1 | (6) 直接原価計算の基礎 | 2 |
| 251 | 損益分岐点比率と安全余裕率 | 1 | (6) 直接原価計算の基礎 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | 合計 | 3 |